

産業応用フォーラム

「可変速交流ドライブの到達点と課題」

概要：近年、可変速交流ドライブ技術は、産業応用分野から民生機器分野にわたるまで幅広い分野に広がり、旧来の直流ドライブの置換えばかりではなく、ハイブリッド自動車など可変速交流ドライブならではの性能を活かした電動ドライブの新しい用途を広げつつある分野でも実用化が進んできている。また、既存分野においても、従来ではなしえなかった交流ドライブならではのより進化した性能・機能を活かして、小型化、高効率化、高性能化などシステムの性能・機能を飛躍的に高めている例も多い。しかしながら、こうした交流ドライブの技術の進歩は対象とする分野や用途の要求に対してなされるため、交流ドライブ全体の技術の到達点をまとめた資料は少ない。そこで本フォーラムでは、可変速交流ドライブ技術を、高速化、低速・センサレス制御、大容量化、高応答化、高制度化、小型化、高効率化の観点での調査結果を、同技術に関心のある技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象として解説致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成 27 年 9 月 14 日（月）13:00～16:45

会場：電気学会 会議室

東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分

TEL: 03-3221-7312

<http://www2.iece.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム：

- 13:00-13:10 開会、主催者挨拶、総論 中西 俊人（東洋電機製造）
- 13:10-14:40 可変速交流ドライブ技術の高速化における到達点と課題 山本 修
（職業能力開発合大学校）
- 13:40-14:10 可変速交流ドライブ技術の低速・センサレス制御における到達点と課題 新中 新二（神奈川大学）
- 14:10-14:40 可変速交流ドライブ技術の大容量化における到達点と課題 山本 康弘（明電舎）
- 休憩
- 15:00-15:30 可変速交流ドライブ技術の高応答化における到達点と課題 牧島 信吾（東洋電機製造）
- 15:30-16:00 可変速交流ドライブ技術の高精度化における到達点と課題 大石 潔（長岡技術科学大学）
菊地 寿江（富士電機）
- 16:00-16:30 可変速交流ドライブ技術の小型化・高効率化における到達点と課題 中島 洋一郎（サンケン電気）
- 16:30-16:45 総合討論

テキスト：電気学会技術報告 1326 号「可変速交流ドライブの到達点と課題」をテキストとして使用します。

なお、希望者には特別価格（¥3,100）で頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費（テキスト代別）：会員(正員)¥12,000-（不課税）准員・学生員¥2,000-（不課税）非会員¥19,000-（税込）

申込方法：○ホームページからのお申込み(締切 9 月 4 日(金))：<http://www.iece.or.jp/forum.html>

問い合わせ先：東洋電機製造(株) 牧島 信吾, e-mail: makishima(at)toyodenki.co.jp 【(at)を@に置き換えてください】

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 モータードライブ技術委員会（委員長：久保田寿夫）